

NEW ITEM

「素ガス」を手軽に吸入できる吸入機。同社初の家庭向け水素ガス吸入機「MHG-2000」(2015年9月発売)をベースに、機能を強化したもの。水素ガス発生に必要な電解セルを2槽から3槽に増やし、水素ガス濃度を従来機の3／3・5%から6・0%に高めることで、水素分子の医療利用に関する研究開発を手がけるMIZ(本社・神奈川県鎌倉市、佐藤文武社長)では、5月から新型の水素ガス吸入機「MHG-2000α」を販売代理店を通して展開している。

同商品は、水素分子を肺や心臓、血液、脳などに素早く行き渡らせることができる「水

MIZ
2000

MHZ-2000α

新型水素ガス吸収機発売

濃度2倍に、安全性キープ

吸入機は同社製品のみだという。主な仕様は次の通り。
 水素濃度は機器前面のパネルにリアルタイムで表示され、
 ▽寸法・W254×L170×H278ミリメートル、▽重量
 3・0キログラム、▽水素ガス濃度

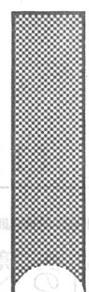
素ガス」を手軽に吸入できる吸入機。同社初の家庭向け水素ガス吸入機「MHG-2000」(2015年9月発売)をベースに、機能を強化したもの。水素ガス発生に必要な電解セルを2槽から3槽に増やし、水素ガス濃度を従来機の3／3・5%から6・0%に高めることで、水素分子の医療利用に関する研究開発を手がけるMIZ(本社・神奈川県鎌倉市、佐藤文武社長)では、5月から新型の水素ガス吸入機「MHG-2000α」を販売代理店を通して展開している。

現在、水素関連市場には複数の水素ガス吸入機が流通しているが、吸入機で重要なボイントは安全性の確保だという。水素分子は、電気によるスパークがあると爆発する危険性があるとされている。

現在、水素関連市場では10%以下の水素濃度では水素ガス吸入機の使用には問題がないことが分かった。また、「MHG-2000」および「MHG-2000α」は、水の電気分解によって水素ガスが発生する瞬間に希釈用空気を電極



企業動向



表面に吹き付け、水素ガスが盛り込まれている。水素濃度を安全な範囲でコントロールする機能が搭載されている。

同社では、水素ガスが実際に爆発する濃度の範囲について研究・調査を実施した結果、通常の環境では10%以下の水素濃度では水素ガス吸入機の使用には問題がないことが分かった。また、「MHG-2000α」は約3キログラムと小型設計が特徴。水素ガスの吸入時間は5分から90分までの5分間隔で設定できる。主な販売チャネルは美容医療機関エステティックサロン、スポーツジム、一般家庭などを想定している。

同商品は、水素分子を肺や心臓、血液、脳などに素早く行き渡らせることができる「水

素ガス」を手軽に吸入できる吸入機。同社初の家庭向け水素ガス吸入機「MHG-2000」(2015年9月発売)をベースに、機能を強化したもの。水素ガス発生に必要な電解セルを2槽から3槽に増やし、水素ガス濃度を従来機の3／3・5%から6・0%に高めることで、水素分子の医療利用に関する研究開発を手がけるMIZ(本社・神奈川県鎌倉市、佐藤文武社長)では、5月から新型の水素ガス吸入機「MHG-2000α」を販売代理店を通して展開している。

同商品は、水素分子を肺や心臓、血液、脳などに素早く行き渡らせることができる「水